



環境総合展3年ぶりに大規模開催、国内外から462社・1,548小間が集結！

第31回開催 **2022 NEW 環境展** 第14回開催 **2022 地球温暖化防止展**
The 31st New Environmental Exposition 2022 The 14th Global Warming Prevention Exhibition 2022

1. SDGsや、脱炭素の目標達成に寄与する環境分野の最先端技術が集結！
2. プラスチック資源循環促進法(2022年4月施行)に対応するリサイクル設備が充実！
3. AI・IoT・ロボットなどデジタル技術を駆使した近未来のビジョンを紹介！

環境関連ジャーナルを発行する日報ビジネス(株)は、5月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)東1～5ホール・屋外実演会場で「2022NEW 環境展」「2022地球温暖化防止展」を開催します。
つきましては、是非ご来場のうえ、出展各社の取材をよろしくお願い申し上げます。

主 催 **日報ビジネス株式会社**
(週刊循環経済新聞 / 月刊廃棄物 / 隔月刊イー・コンテクチャー / 隔月刊地球温暖化)

会 期 2022年5月25日(水)～27日(金) 3日間

時 間 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

会 場 東京ビッグサイト 東1～5ホール 屋外実演会場(東京都江東区有明3-10-1)

展示規模 462社 1,548小間(NEW環境展:394社 1,457小間、地球温暖化防止展:68社 91小間)

入 場 料 1,000円(税込)※事前登録で入場料が無料になります。

【お問い合わせ先】

名 称 日報ビジネス株式会社 住 所 東京都千代田区神田三崎町3-1-5 神田三崎町ビル
担当者 西村 潤一 T E L 03-3262-3562 e-mail nishimura@nippon-biz.co.jp
発行媒体 週刊循環経済新聞 / 月刊廃棄物 / 隔月刊イー・コンテクチャー / 隔月刊地球温暖化

NEW 環境展

最新のAI選別機や大型特殊車両がずらり プラスチック新法施行 リサイクル機器に注目

世界的な潮流となっているサーキュラー・エコノミー（循環経済）。資源を高精度に分けるAI選別機・ロボットが国内外で広がりつつある中、展示会



場にはコンパクトで高性能な機種が登場、工場での実演をライブ中継します。



高効率の廃棄物・資源の輸送に向けて、欧州や日本の大型トレーラーや床面が自動で動き荷降ろしできるコンテナ・車両が一同に会します。

さらに、今年4月に施行されたプラスチック資源循環法を受けて、様々な企業が取り組みを始めています。会場には、廃プラスチックの破碎機や光学選別機、押出機など最新のシステムが出揃います。

地球温暖化防止展

脱炭素化に欠かせないエネルギー消費量削減と代替 遮熱、緑化から再生燃料やクリーン発電など幅広く

地球温暖化を引き起こす主な原因となるCO₂。地球温暖化防止展には、CO₂削減に不可欠な電気や熱などのエネルギー対策関連機器や商材が揃います。



省エネ関連では、熱中症対策としても期待される冷風機や遮熱材、緑化などが充実。動力を変圧器単位で節電させたり、



ZEBの推進による施設全体のエネルギー削減など、目的や規模に応じた提案が目を見せます。一方、レジリエンスの強化・エネルギーの地産地消などにも有効な再エネ関連ブースでは、小水力発電や水素発電機、バイオマス燃料製造装置などが集まりました。潜熱回収ボイラーや地中熱といった熱利用の分野も見逃せません。

このたび、「NEW環境展記念セミナー」を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

今回取り上げるのは、いま最も注目を集めるプラスチック資源循環法はもちろん、脱炭素に向けたサーマル利用と処理困難物対策、さらにバイオガス発電事業のこれから。そして、元自治体の産廃行政担当の長岡文明氏の単行本出版記念セミナーの計5テーマです。

開催に際し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、無事故の運営を行ってまいります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

会期 2022年5月25日(水)～27日(金)

会場 東京ビッグサイト 会議棟6階 東京都江東区有明3-11-1

受講料 おひとり様1講座 10,000円(税込)

完全事前登録制

日時		講座番号	テーマ
5月25日(水)	14:00～16:30	講座1	単行本出版記念 対話で学ぶ廃棄物処理法
	10:00～12:30	講座2	プラスチック資源循環法と「再資源化」
5月26日(木)	14:00～16:30	講座3	脱炭素! サーマル利用のこれから
	10:00～12:30	講座4	バイオガス発電事業の気になる動きとこれから
5月27日(金)	14:00～16:30	講座5	脱炭素時代の処理困難物対策

名称 第31回 2022NEW環境展 (N-EXPO 2022)

テーマ 環境ビジネスの展開

目的 企業の社会的責任が問われる時代に入り、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な循環型社会の構築にむけ環境汚染問題や地球温暖化問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ資源有効利用や多様な新エネルギーの活用は、環境対策にとり最重要の取り組みです。そうした中、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信する事により環境保全への啓発を行い、国民生活の安定と環境関連産業の発展を目的とします。

後援 環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、東京都、日本商工会議所、東京商工会議所、一般社団法人廃棄物資源循環学会、在日ドイツ商工会議所、KOTRA(大韓貿易投資振興公社) 大阪貿易館、TAITRA(台湾貿易センター)

協賛 61団体

名称 第14回 2022地球温暖化防止展 (GWPE 2022)

テーマ CO₂削減と新エネ・省エネビジネスの推進

目的 企業の社会的責任が問われる時代に入り、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な脱炭素社会の構築に向け、地球温暖化問題やエネルギー問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ省エネルギーや再生可能エネルギー、ヒートアイランド技術、CO₂排出削減技術の活用は温暖化対策にとり最重要の取り組みです。そうした中、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信する事により環境保全啓発を行い、国民生活の安定と環境・温暖化防止関連産業の発展を目的とします。

後援 環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、東京都、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(全国地球温暖化防止活動推進センター)、在日ドイツ商工会議所、KOTRA(大韓貿易投資振興公社) 大阪貿易館、TAITRA(台湾貿易センター)

協賛 17団体

【過去の放映・掲載実績】

NHK (ニュースシブ5時)、日本テレビ (news every.)、TBSテレビ (情報7daysニュースキャスター、あさチャン!、Nスタ)、フジテレビ (プライムニュースα)、テレビ東京 (ワールドビジネスサテライト)、NHK WORLD-JAPAN (BIZ STREAM)、TOKYO MX (TOKYO MX NEWS)、富山テレビ (今こそ、エコだね。イマエコ) 等テレビ、ラジオ、インターネット、一般紙・誌、に放映・掲載していただきました。

【今回の宣伝計画】

交通広告 中吊り広告:JR東日本 (山手線、横須賀線・総武線快速、常磐線、つくばエクスプレス・仙台エリア)、JR北海道、JR東海、JR西日本 (関西エリア・北陸エリア・岡山エリア・広島エリア)、JR四国、私鉄・地下鉄 (近鉄線、京阪線、南海線、阪神線、東京メトロ、大阪地下鉄、札幌市営地下鉄、福岡地下鉄)、沖縄モノレール
駅貼りポスター広告:東京駅、品川駅、御堂筋線本町駅
ホームドアシート:丸ノ内線新宿駅
新聞広告 日本経済新聞、日経産業新聞、循環経済新聞、包装タイムス、他にて告知
雑誌広告 月刊廃棄物、隔月刊イー・コンテクチャー、隔月刊地球温暖化、月刊食品包装、月刊カートンボックス、他にて告知
インターネット広告配信 Yahoo!、Google

新型コロナウイルス感染防止対策について

— 以下の対策を講じて、感染防止に努めてまいります —

- 風邪の症状がある、37.5度以上の熱がある、倦怠感 (強いだるさ) がある、呼吸が困難である (息苦しい) などに該当する場合は来場自粛を要請いたします。当日会場でも検温を実施いたします。
- 全参加者 (来場者、出展社、関係者、協力会社、運営スタッフなど) に対して、マスクを常時着用していただきます。また感染症に対する注意喚起と手洗い、手指消毒励行を予め告知しています。
- 全参加者に対して、オンラインでの入場事前登録を促し、個々にQRコードを発行し入場時の混雑緩和 (来場者間の物理的距離の確保) に努めていきます。
- 会場入り口にて、エアーカーテン式オゾンの除菌ブースを設け、館内へのウイルス持ち込みを遮断します。
- 政府・会場等のガイドラインの最大収容人数に従い、館内の混雑状況を常時把握し、必要に応じて入場制限を行います。

NEW 環境展



OR

地球温暖化防止展



<https://www.n-expo.jp/index.html>



LINE 公式アカウント



Facebookもチェック



SNSで展示会や記念セミナーの情報発信をしています。